平成１３年度当初予算　基本事務事業目的評価表

基本事務事業名］ 環境にやさしい生活様式の促進事業 （１０１）
評価年月日］ 平成 12 年 11 月 14 日
主担当部課名］ 環境部　環境政策課
記入課名・課長名・電話］ 環境政策課　課長　伊藤敬三 TEL059-224-3109

１　総合計画の政策体系上の位置づけ
政策　:環境保全活動への参加と協働 （Ⅲ－３）
施策　:環境を守り育てる活動への参加と協働 （　２　）
総合計画の目標項目　環境基本計画策定市町村数 等
波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策　:消費者の自立への支援、住民参画によるまちづくり

２　基本事務事業を巡る環境変化（過去、現状、将来）

最近の環境問題は、自動車交通による大気汚染、生活排水による水質汚濁、ごみの増大など、一人ひとりの日常生活に関わるものが増加している。また、地球温暖化など地域を越え地球規模にまで広がり、将来の世代にまで影響を及ぼす問題となっている。

一方、こうした環境問題への県民、事業者等の関心は高まり、環境にやさしい生活や環境保全活動への県民等の取組の機運は高まっている。

３　基本事務事業の目的と成果
3-(1) 対象と意図（何をどういう状態にしたいのか）

県民、事業者、行政等の主体が進んで環境にやさしい生活様式を確立し、積極的に環境保全活動に参画する環境先進県づくり県民運動の展開を図る。

3-(2) 成果指標名・成果指標式（総合計画の目標項目には＊を付す）

指標名　環境県民会議の活動状況
指標式　環境県民会議の年間活動決算額 ／ 環境県民会議の年間活動予算額 ×１００（%）

②変更した場合の成果指標名・成果指標式

指標名　環境県民運動参加数
指標式　「環境創造活動を進める三重県民の会」の県民運動の参加人数

3-(3) 設定した成果指標に関する説明（指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など）

環境創造活動三重県民の会には県内６３団体が加入しており、会の合意のもとで行われる統一テーマに基づく活動について、参加数を指標とすることは、県内全体の環境県民運動の状況を把握するにふさわしいと考えられる。

3-(4) 結果（施策における2010年度の目標）

多くの住民や事業者が、人の生活と環境との関わりについて理解と認識を深め、生活様式や事業活動を見直し、環境を守り育てる活動を自ら進んで行う。

４　基本事務事業の評価
4-(1) 前年度（H11年度）における基本事務事業の結果評価
①前年度に行った内容と成果

〈環境政策課長〉
・三重県環境基本計画の年次報告としての環境白書をとりまとめ、本県の環境の現状及び環境保全に対しての施策を県民に公表した。
・三重県地球環境保全推進会議の総会・講演会を開催し、地球温暖化問題への認識を深めた。
・三重県公害防止条例を今日的な環境問題に対応できる条例として改正するため、三重県環境審議会に諮問するとともに、県民・事業者アンケートを実施した。
・６市町村（四日市市、伊勢市、名張市、河芸町、東員町、大安町）に対し、市町村 ISO14001 認証

取得事業補助金を交付した。うち、四日市市、伊勢市、東員町が認証を取得した。
・ISO14001 認証取得の普及啓発のモデルとなる中小企業 4 社に認証取得に要する経費について一部助成を行った。
〈廃棄物対策課長〉
・市町村が行う「美化推進モデル」地域における美化事業に補助（５市町村）を行うことにより、清潔で美しい三重を創造するうえで市町村との連携が図られた。（美化推進モデル地域を設定している市町村は３９市町村）
また、県民自ら環境美化について学習し、自ら行動していくことを目的に、地域で行う環境学習に講師の派遣等を行うことにより県民の美化意識の高揚が図られた。
〈林業振興課長〉
・シンポジウム・木工教室を開催し、環境材としての木材のＰＲを行うとともに、木造住宅建設者に対する低利融資により木造住宅の建設を促進し、温暖化防止に貢献した。

②前年度に残った課題
〈環境政策課長〉
・三重県地球環境保全推進会議の構成団体（事務局等）への普及啓発だけに終わっており、各団体の構成員（県民、事業者一人ひとり）への浸透、環境保全実践活動への発展が進んでいない。
〈廃棄物対策課長〉
・ごみのポイ捨てをなくすために、県民の美化意識をいかに高めるかが最大の課題である。
〈林業振興課長〉
・木材が環境材・健康材であるというＰＲの認識はある程度図られたが、環境資材としての木材利用が促進されるまでは至っていない。

4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価
①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果
〈環境政策課長〉
・三重県環境基本計画の年次報告としての環境白書をとりまとめ、本県の環境の現状と環境保全に対しての施策を公表する。
・三重県公害防止条例を本年度中に改正する。
・三重県地球環境保全推進会議を発展的に改組し、「環境創造活動を進める三重県民の会」を H12 年 7 月に設立した。
・環境フェアについては、多くの県民が環境に配慮した生活とはどのようなものかを、楽しみながら体感してもらうことができ、平成 12 年を環境県民運動元年と位置づけるにふさわしいイベントとなった。
・１６市町村（見込み）に対し、市町村 ISO14001 認証取得事業補助金を交付予定。うち３市町（名張市、大安町、河芸町）が認証取得する見込みである。
・中小企業の ISO14001 の認証取得支援については、33 件の交付を見込んでいる。
成果として、今後は認証取得企業数の更なる増加が見込まれる。
〈廃棄物対策課長〉
・町が行う「美化推進モデル地区」内における美化事業に対して補助を行う（１町）。美化推進モデル実施市町村数が４０になったことから、モデル事業の役割はほぼ果たした。
〈林業振興課長〉
・健康・環境面での木の良さのＰＲと、森林・木材を巡る循環型システムをつくるため、県産材使用を促進する事業を行っている。

②本年度残ると思われる課題
〈環境政策課長〉
・県環境基本計画の基本目標の達成に向け、環境基本計画アクションプログラムに基づき進行管理を行う。
・公害防止条例の改正項目の中には罰則規定がないものがあるため、施策でフォローしていく必要がある。
・「環境創造活動を進める三重県民の会」等を母体とする本格的な環境県民運動の展開。
・本年度以降、継続して ISO14001 認証取得事業補助金の要望があり、新たに多くの市町村が申請見込みであり、補助枠の拡大を強く要請されている。
〈廃棄物対策課長〉
・環境美化の推進については、本年度中に「三重県公害防止条例」を全面改正し、「清潔で美しい三重をつくる条例」を廃止する予定であり、より一層効果のある施策について再検討する必要がある。
〈林業振興課長〉
・木材に対する理解、県産材利用については一定の成果があるものの、循環型社会システムをつくり

あげるまでは対策を講じていく必要がある。

5 基本事務事業の改革方向

〈環境政策課長〉
・県民・事業者等の主体による自主的な環境保全活動が展開されるよう、更なる県民運動の気運を醸成する。
〈廃棄物対策課長〉
・より効果的な環境美化推進事業として、改正予定の三重県公害防止条例において、放置自動車の撤去の仕組みを規定したうえで事業を実施する。
〈林業振興課長〉
・木材価格・品質の安定、定時・定量で供給できる県産材の安定供給システムの確立が重要であり、林内路網などの生産基盤の整備、担い手の確保策などと併行して実施する必要がある。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値 目標	成果指標値 実績	総合計画 目標数値	予算額等 (千円) 所要時間 (時間)	必要概算 コスト(千円)
前々年度 (H10年度)			(環境基本計画策定市町村数) 5	2,029,720 4,810	2,049,826
前年度 (H11年度)	―――	―――	6	2,291,485 9,550	2,331,118
本年度 (H12年度)	―――	―――	12	2,034,008 13,100	2,088,897
本年度補正後 (H12年度)	―――	―――	12	+48,366 +50	+48,576
翌年度 (H13年度)	100%	―――	25	2,517,652 26,590	2,629,065
計画目標年次 (H 年度)	―――	―――		―――	―――

基本事務事業名：環境にやさしい生活様式の促進事業

7　翌年度(H1 3年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM：ProjectPortfolioMatrix)

〈必要概算コスト：　☆５億円以上　◎～１億円　◇～５千万　△～１千万　・１千万未満　＊休止・廃止〉

※　*各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。*

8　基本事務事業を構成する事務事業の詳細
※　新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名（担当課）	成果指標名	事務事業の概要	13年度予算額（千円）	予算額前年度比（±千円）	13年度所要時間（時間）	所要時間前年度比（±時間）
環境保全総務費（環境政策課）	答申反映度	三重県環境審議会の開催経費、課の管理運営費等	21,544	－1,753	7,920	± 0
環境保全基金積立金（環境政策課）	―――	法人県民税超過課税分の10％を環境保全基金に積み立てる。	85,774	＋83,774	10	± 0
21世紀三重の環境県民運動推進事業費(新)（環境政策課）	「環境創造活動を進める三重県民の会」の県民運動の参加数	県民、事業者、行政等の様々な活動主体による参加と連携による県民運動の枠組みを構築し、それぞれ特徴ある環境県民運動を展開する。また、市町村、中小企業等におけるISO14001認証取得等を支援する。	429,893	＋429,893	13,440	＋13,440
MIE・みんなで創る環境ﾌｪｱ事業費（環境政策課）	県民認知率、参加率	環境保全に関する実践活動や新しい環境ビジネスを展開する団体・企業等と協働して、県民が楽しい体験を通じてライフスタイルの見直しを考えるようなイベントを開催する。	30,000	± 0	600	± 0
放置自動車撤去促進事業費(新)（廃棄物対策課）	早期放置自動車撤去率	廃棄物認定委員会において認められた放置自動車の市町村の撤去費に対する補助。	4,477	＋ 4,477	2,940	＋2,940
「三重の木を使おう」県民運動定着化事業費補助金（林業振興課）	運動定着度	木材セミナーの開催、啓発物の発刊、木工教室、木製品展示会開催に対する補助。	2,050	＋ 250	800	± 0
「三重の木を使おう」県民運動定着化事業費（林業振興課）	運動定着度	木材利用相談の委託。	900	± 0	700	± 0
新優良木造住宅建設促進事業費（林業振興課）	貸付有効度	「新優良木造住宅建設促進事業費貸付金」事業推進のため、三重県地域木造住宅推進協議会に委託する。	1,000	± 0	130	± 0
新優良木造住宅建設促進事業費貸付金（林業振興課）	貸付有効度	県産材を使用した木造住宅の建設に対し、融資を行う金融機関に預託する。	1,942,014	+212	50	± 0